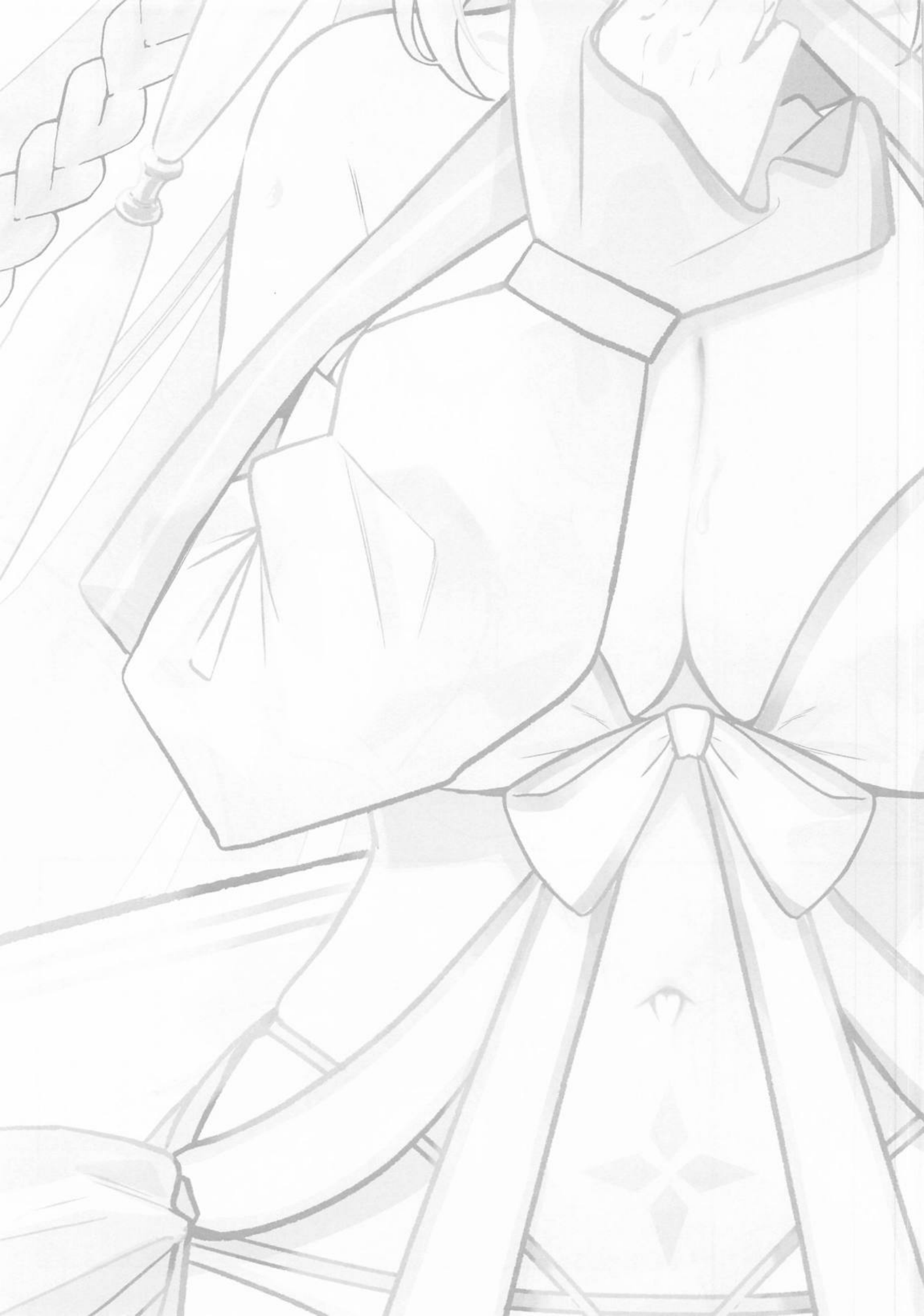
冷たい女の常夏蜜月



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止




ハワトレア



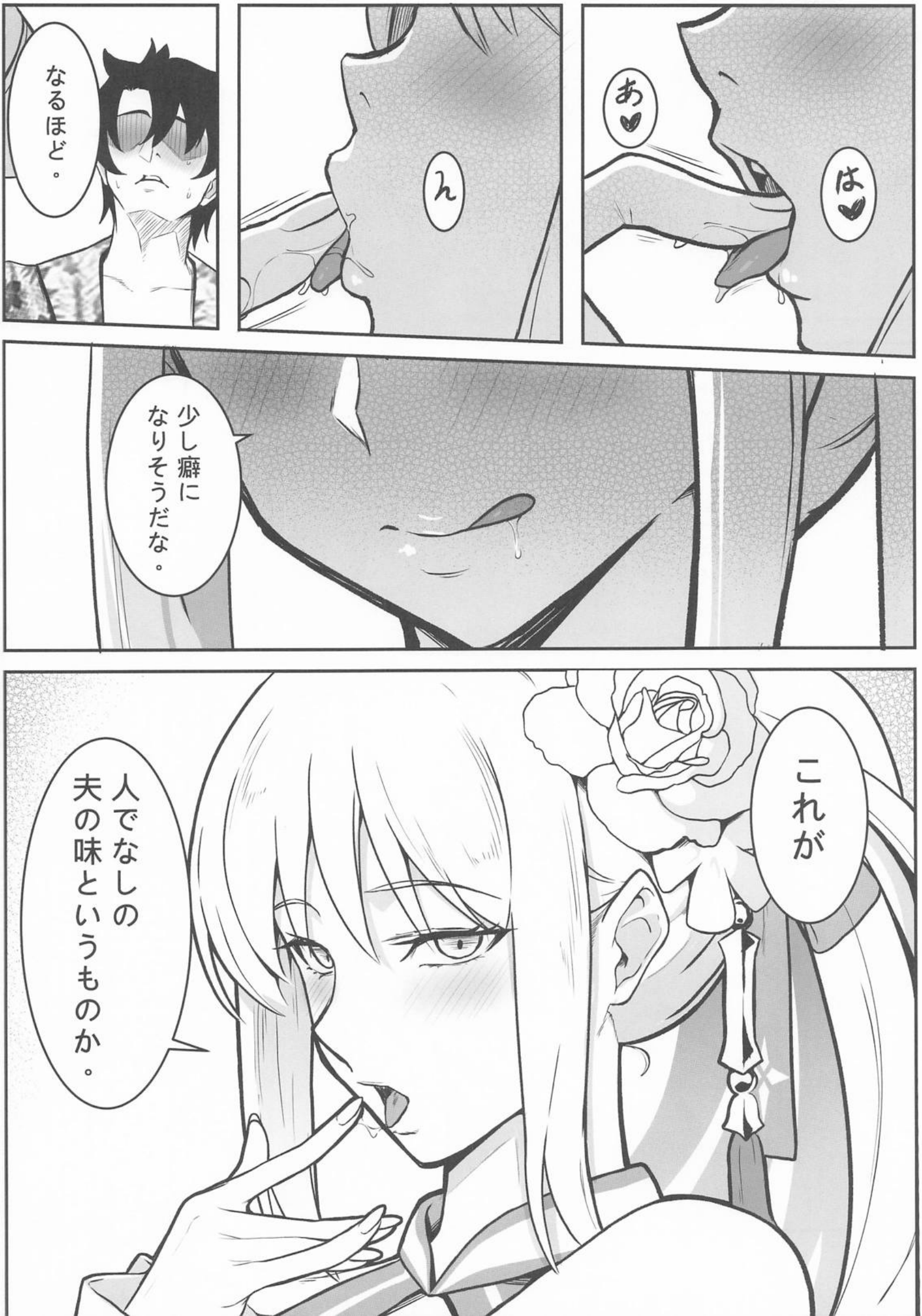

お疲れ様です。
お前か、我が夫。
本王はお前にバーヴァン・シーの案内役を命じたはずだが？
ですが、王のご苦労をねぎらうのも臣下の務めではありませんか？
それはそうだがー
本当は、マシュとホテルに行きたかっただけじゃないの？


だが、
彼女はずっと
皆と一緒にいた。
だから仕方なく
私のところへ来た、
違うか？
ち、違います……
それは……


まったく……。


……
ゴクッ


はむ
ちゅ
くっくっ
!?


なるほど。
ん
あ♥
は♥
少し癖になりそうだな。
これが
人でなしの夫の味というものか。


ん~!!
ちゅ~
ちゅ♥
はぁ♥
はぁ♥
べろ♥
べろ♥
ぎゅっ♥
ぎゅっ♥
むにゅ
むにゅ
はむ
ぎゅっ♥
べろ♥
あっ♥
うっ!?


モ、モルガン…!?
ビクン
ナデ
口づけの最中は静かに。
はぁ…
あんっ
ビクン
うっ
ん…
うっ
ふー
ビクン
ん
指、が……
んんっ!!
ビクン
んっ……


んん!!
うっ!!
ん…♥
ドク
ん…♥ん…♥
は…♥
は…♥
あ…♥
ドク
ドク
ドク


モルガンのおっぱい
あっ♡
ぎゅ♡
はっ!!
はっ!!
気持ちいい
もう限界が近いのだろう？
無理に耐えなくてもよいぞ
また、
ビクン
ビクン
あっ♡
ぎゅるるる♡

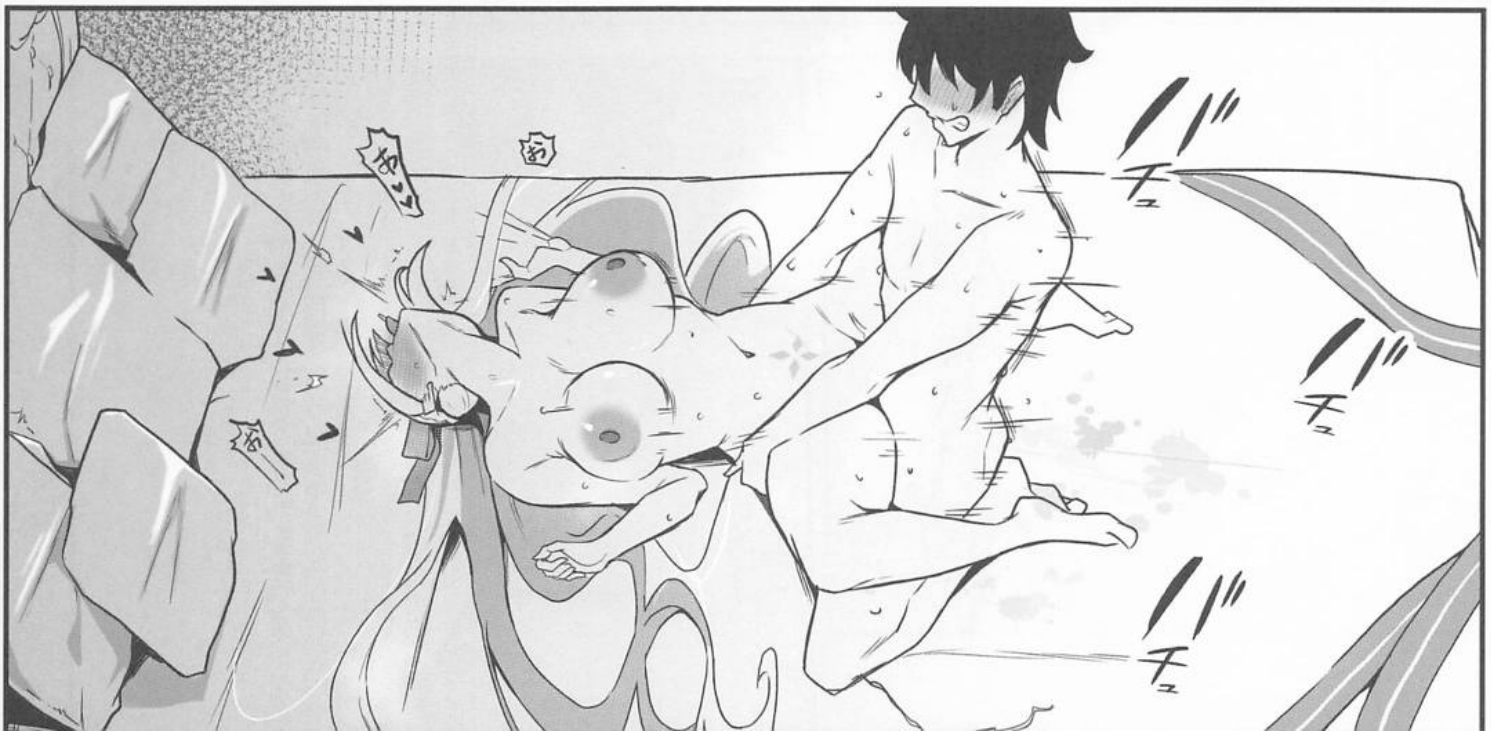

もったいない
まっ
うわっ！
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ブビッ
ブビッ
は～
は～
は～
あは…♥
本当に、
ぐちゅ
ずいぶんと
我慢していたようだな♥


…いいぞ
今なら、好きなだけ―
出せばいいよ
我が
夫
陛下！
モルガン陛下！
ふー…
お…
ふー…
ふー…


おまんこ、気持ちいいです……！
精液が込み上げてきた…！またイきます……！
ビクン
ビクン
イクッ!!
ブビッ


んーっ
んーっ
ん…ふっ


お…
お…
ぬん♡
ぬん♡
ぬん♡


おっ
お
お
パチュ
パチュ
パチュ


ふぁっ
チュ
チュ


腰が、止まらない…っ！
ビクン
ビクン


モルガン……
ぱん
ぱん
ま、また…
出そう……っ
ぱん
ぱん



イクッ!!
うっ うぅっ
んっ
ドピュ
びゅ
びゅ
ドピュ
ふっ
ふ…
うっ
ひあ
びく…
びく…
びゅ
はっ
は
はっ
ふう
っ
っ


ごめん……私、
はっ
はっ
ちょっと、
……


おぅ…
は…♥
はぁ……っ
あんっ♥
ぱりっ…
ビチュ
ビチュ
あっ♥
あぁん♥
ビチュ
ほぉぉぉ♥♥


こんなふうに
亀頭を刺激されたら…！
ビクビク
オ…オオッ！
た、
玉がっ!!
ビクッ
ブポ
ニチュ
ニチュ
ニチュ
ニチュ
ふー
あっ
ドクドク
ドクドク
出るっ!!
うは


モルガン!!
チュ
最後に…
いいよ♥
さあ……、私の穴を、めちゃくちゃに壊してっ……!
夫の、専用の穴になっちゃえ……っ!
モルガン!!
バチュ
バチュ


ぬぽん
ぬぽん
ぬぽん
うっっ!!
ふぅ
うぅっ♥
はー
?
バチュ
んっ~~♥
んぅう♥
ぢゅ♥
膣内に
出すぞ……っ、全部!!
ぶちゅっ
ぶちゅっ
ぶちゅっ
あぁっ♥
ぶちゅっ
ぶちゅっ


ブビッ
ブビッ
おおおおっ♥
ビクン
んおおっ
ビクン
おぉ♥
ブビッ
ブビッ
おおっ
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
おっ
全部注ぎ込んでやる!!


先輩……
モルガンさんのところへ行って、大丈夫でしょうか……？
あんなやつのことなんて放っておきなさい！
もし無茶なことでもしたら、
母様がきっちりお仕置きしてくれるわ！
ビクン
ビクン
ビクン
あ♡
ポン


To be continued...

皆さん：

本作をお手に取っていただき 誠にありがとうございます。

そして『冷たい女王の常夏蜜月』をご購入いただき、
心より感謝申し上げます。

実は以前からずっとモルガン陛下を描いてみたいと思っていました 今でも、
水着モルガンが実装された当時の衝撃と胸の高鳴りをよく覚えています。

今回の作品では、これまで自分なりに研究し、
模索してきた表現を取り入れながら、
少しでも彼女の魅力を引き出せるよう挑戦してみました。

また、
物語を考える中で、
「もし自分が本当に女王とこんな時間を過ごせたら、どんなことが起こるのだろう？」
と想像を膨らませることも少なくありませんでした(笑)。
本作に描かれている数々のやり取りや感情表現は、
そうした妄想や想像の積み重ねから生まれたものでもあります。

今回特に描きたかったのは、
少しずつ距離が縮まり やがて感情が大きく高まっていく過程です。
読者の皆さまにも、二人の関係が変化していく様子を楽しみながら、
この夏のひとときを味わっていただけたら嬉しく思います。

最近は他にも描いてみたい題材やキャラクターがたくさんあり、
今後は二次創作だけでなく、
オリジナル作品でも皆さまにお会いできればと思っています。

これからも応援してくださる皆さまに、
より良い作品や魅力的なキャラクターをお届けできるよう精進してまいります。

最後になりますが、本書を手に取ってくださった皆さま、本当にありがとうございました。
また次の本でお会いできましたら幸いです。



